

にちにちこれこうじつ 日日是好日



群馬県立桐生特別支援学校
令和6年1月18日
校長だより No.24

【3学期のスタート】

3学期がはじまって二週目。朝の運動や学習活動等、学校にいつもの活気が戻ってきました。「きりとくだより」の冒頭でも触れましたが、能登半島地震から始まった2024年。新年の喜びを吹き飛ばすような地震に、あらためて自然の力の大きさと驚異を感じました。

再掲となりますが、災害等があった場合に桐生特別支援学校は菱地区住民の避難所となります。お住いの地域の避難所を確認しておくとともに、万が一の時に備えて避難先までのルートを確認し慣れておくようにしましょう。

【クラスで初詣】

暖かかった年末とは異なり、一月に入ってから寒さを感じます。体調を崩さないよう衣服での調節をお願いいたします。先週は、いくつかのクラスで初詣にでかけたところがありました。子ども達はどんな願いをしてくれたのかな。

始業式では、「年が新しくなったので、今年一年の目標を決めましょう。」という話をしました。「友達の名前を書けるようになる。」「好き嫌いなく食べられるようになる。」「オリンピックイヤーなので、何か一つメダルをとる。」等、それぞれに目標をもって頑張ってもらいたいと思います。

【1月15日 中学部登山】

今回もAコースに同行しました。山道に入ると、H君が「葉っぱがないよ。」と教えてくれました。確かに、木々の葉はすっかり落ちています。木々の間が透いていて、これまで見えていなかった景色が見えます。それに、前日からの風に落ち葉は吹き飛ばされて歩きやすくなっていました。歩きやすいのは良いですが、山の上に出ようとするたびに風が強く吹きつけます。生徒は「台風みたいだ。」と帽子を押さえていました。寒くはありましたが、見晴台から見える桐生市の眺めに来て良かったとみんなも思ったことでしょう。

【1月16日 全校集会（ゲーム集会）】

全校児童生徒が、赤チームと白チームに分かれて2種類のゲームを体育館で行いました。1種目は、「フラフープリレー」。2種目は、「ボール送り」です。1月の体育館は寒さを感じましたが、すぐに児童生徒はゲームの熱気で暖まりました。

小学部生と中学部生

が組になってのフラフープリレーに、直接言葉をかけることはなくとも下級生を気づかう



様子が随所に見られました。普段は学校で顔を合わせることがあっても、一緒に活動する機会は少ないので、全校児童生徒がともに参加する集会は楽しいですね。

【大谷選手からのグローブが届きました】

昨年話題となりました大谷選手から全国の小学校に寄贈されたグローブが本校に届きました。早速、中学部の生徒にお披露目しました。カッコいいデザインのグローブに注目が集まります。一人一人ははめているところ

を写真に撮って、小学部の児童に回しました。野球の得意な先生が



いるので、これから休み時間などにキャッチボールを楽しむ児童生徒が出てくるのが楽しみです。

【降雪時の送迎には、ゆとりをもって】

わずかでも雪が降ると、交通渋滞が起きやすくなります。私は16日の雪で、いつもより20分も多く通勤時間がかかりました。

バス停留所まで送迎される方も、直接本校まで送迎されている方も、ゆとりをもって登校ください。また、停留所の駐車場所は本校関係者以外の利用者もあるかと思います。事故等には、十分な注意をお願いいたします。